

高齢者福祉施設用
119番通報マニュアル
～救急編～



大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
通信指令課

救急対応の流れ



急病人・怪我人の発生



119番通報



※ 救急隊から通報した電話に連絡することがあります。電話は繋がる状態にして救急隊の到着を待ってください。

(必要な場合) 応急手当の実施



救急隊の誘導



救急隊への情報提供、救急車への同乗



通報のポイント その1

< 場所を正確に伝えましょう >



119番通報で「救急」と伝えた後は、**施設名**もしくは**正確な住所**を最初に伝えてください。

○ 施設の固定電話からの通報

固定電話からの通報であれば、携帯電話と比べて場所をスムーズに特定することができます。

しかし、具合が悪い人と離れている場合が多く、状況を伝えられないことがあります。



⇒固定電話で通報するときは、事前に具合が悪い人の今の状態を伝えられるよう、確認してから通報してください。

（「**通報のポイント その2**」を参考にしてください。）

○ 携帯電話からの通報

携帯電話からの通報の場合、具合が悪い人の様子を見ながら話せますが、携帯電話からの発信情報だけでは正確な住所を特定することが難しいので、通報者から場所を教えてもらう必要があります。



⇒携帯電話で通報するときは、まずはじめに施設名か施設の正確な住所を教えてください。

※ 施設に出入口や搬入口が2つ以上ある場合は、通報の際に「西側の入り口に救急車をお願いします。」「施設の東棟の出入口に具合の悪い方がいるのでそちらに救急車をお願いします。」など救急車の進入口も教えてもらえると大変助かります。

通報のポイント その2

< 具合が悪い人の今の状態を伝える >



具合が悪い人の**今の意識状態と呼吸状態**を教えてください。

その後バイタルサインや具合が悪くなった状況、持病やかかりつけの病院などを教えてもらえると、救急隊がスムーズに具合の悪い人を病院へ搬送することができます。

意識状態の判断方法

呼びかけて反応（返事）があるかで判断してください。体が動いていても目的のある動作（呼びかけられた方を見るなど）をするかが重要です。

※痙攣は目的のある動作になりません。

「痙攣しています。」と伝えてください。



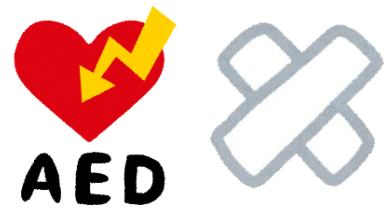
呼吸状態の判断方法

胸やお腹が上下するかで判断してください。

わからなかったり、判断に迷う場合は呼吸がないと判断してください。

※ゆっくり口をパクパクしている場合も上手く呼吸できていないことがあるので、呼吸がないと判断してください。





呼吸がない、出血している、喉にものを詰まらせた場合は、指令員から通報者に応急手当を行うよう指導します。

応急手当の方法がわからない時は、電話口で指導するのでその通り実施してください。

ここでは、応急手当について簡単にまとめています。いざという時にすぐ行動へ移せるよう、日頃から確認しておきましょう。

呼吸がない⇒心臓マッサージ（胸骨圧迫）とAEDの装着

心臓マッサージ実施者の両手を重ねた状態で、胸の中心を強く（約5cm沈む）、速く（テンポは1分間あたり100～120回）、押したらしっかり戻し、絶え間なく継続してください。周りに人がいる場合は交代しながら続けましょう。

施設にAEDがある場合はAEDも装着しましょう。装着方法はAEDの音声に従ってください。



出血している⇒止血（直接圧迫止血）の実施

清潔なタオルやガーゼなどを傷口に当て、手で強く圧迫してください。傷口や血液に素手で直接触れないよう手袋などを装着し、感染防止にも注意してください。



喉にものを詰まらせた⇒異物除去（背部叩打法）の実施

手のひらの付け根で肩甲骨の間を強く叩きます。喉に詰まったものが取れるまで続けましょう。ただし、グッタリして意識がなくなってしまった場合には中断し、すぐに心臓マッサージを行ってください。



新型コロナウイルス感染リスクを減らす 心肺蘇生のポイント

新型コロナウイルスが流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応すべきとされています。心肺蘇生を行う際には以下のポイントに注意して新型コロナウイルスの感染リスクを減らしましょう。

- ① 全ての傷病者に
コロナ感染の疑いがあるものとして対応する
 - ② 呼吸や反応の確認の際に
顔を近づけすぎない
 - ③ 心肺蘇生を開始する前に
具合が悪い人の鼻と口をマスクやハンカチ、タオル等で覆う
- ※ 救急隊に引き継いだ後、使用したハンカチやタオル等は
直接触らずに捨ててください。
- ④ 人工呼吸を行わず、心臓マッサージだけを行う
 - ⑤ 救急隊員に引き継いだ後
すぐに手と顔を石鹸と流水で洗う
 - ⑥ 室内の場合は
窓を開放し、換気を行う



心臓マッサージができるか不安な場合

消防署では、救命講習会を実施しています。福祉施設への出向もいたします。修了証が発行される3時間の講習から短時間の講習まで、ご都合に合わせて実施できます。

申し込み、お問い合わせは、最寄りの消防署、消防分署にお問い合わせください。

また、当消防本部では心臓マッサージをする人を後押しする動画をYouTubeに公開しています。

音声で**すみません、誰か来てください**と検索してみてください。
救急隊員と一緒に心肺蘇生ができます。



YouTube「すみません、誰か来てください」より